

第1年1組 学級活動 めざせ！バナナうんち「うんこダスマン」

学習活動・予想される児童の反応

本時見られた深く学び続ける子どもの姿

1 エプロンシアターを見て食べ物の道筋を知り、自分のうんちがどれにあてはまるかを考え、本時のめあてをつかむ。

○ 食べ物が消化・吸収され様々なうんちが出るまでの過程をエプロンシアターで行うことで、食べ物と便には関係があることが理解できた。エプロンシアターに、大変興味をもつことができた。

バナナうんちがだせるようになるう！



やわらかい ちょっと バナナうんち かたい
 やわらかい

○ 毎日の便にも、いくつかの種類があることに気付き、自分のうんちと比べることができた。

2 困ったうんち（ころころ、びちびち）や便秘の原因・予防について話し合う。

○ 全体での話し合いが苦手な児童もペアで考えを述べる活動ができていたように思う。発達段階的に、1年はペアで話し合う活動が基本のような気がする。

(1) なぜ、困ったうんち（ころころ、びちびち）が出たり、便秘になるのかをペアで話し合う。

- ・冷たいものを食べすぎたから。
- ・好き嫌いをしていたから。
- ・水分が少なかったから。

(2) どうしたらバナナうんちがでるようになるのか、全体で話し合い、考える。

- ・野菜をたくさん食べる。
- ・バランスよく食べる。

3 絵本「うんこダスマン」を読んで、バナナうんちを出すための方法を話し合う。

○ 絵本「うんこダスマン」の読み聞かせを聞き、バナナうんちを出すための5つの方法で自分を振り返ることに役立ったのではないかと思う。

〈バナナうんちを出すために〉



あきごはんのじゅつ



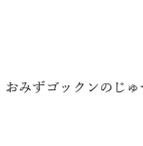
からだのびのびのじゅつ



うんこタイムのじゅつ



ゴックンのじゅつ



おみずゴックンのじゅつ



せんいのじゅつ

○ 繊維を取ることが大切だと知っていたが、運動や排便の時間を決めることもバナナうんちを出すために重要だということを知ったようであった。

4 自分の生活を振り返り、一週間取り組む。

◇ 自分の排便と日常生活を重ねて考え、バナナうんちを出そうとする意欲を持っていた。

/					
/					
/					
/					
/					
/					

○ 自己決定（どの取り組みを重点的に行うか。）の手助けとして前時まで自分の生活を振り返りながら学習者用端末を活用し一週間、生活チェックを行う。

5 「きょうのがくしゅうで」を書く。

○エプロンシアターで視覚的に、自分の排便が食べ物と深い関りがあることが理解できたようだ。

○絵本の読み聞かせで、5つの術が分かりやすく取り組む意欲につながったと思う。

●自己決定の場面が弱かった。どの活動を重点的に取り組むのかを確認するべきだった。